

様 胃ろうケア チェックリスト

1:理解できた 2:一部理解できた 3:理解できていない

項目	内容	確認	評価	備考	
栄養剤の注入方法	処置の前に手を洗う				
	注入の体位をとる(30度もしくは90度)				
	投与セットのクレンメを閉じる				
	栄養剤を栄養容器に入れる				
	栄養チューブの接続 ・使わない注入口は閉じる ・チューブ内に栄養剤を通してからカテーテルに接続する				
	適切な速度で滴下開始する(時々、滴下速度を確認・調整する)				
	栄養剤終了後、微温湯を勢いよく注入する				
	終了後、1時間は上半身を起こしておく				
	薬剤注入時	薬剤を40度くらいの湯(20ml)であらかじめとかしておく			
		栄養剤終了後、微温湯で、チューブ内の栄養剤を流す			
水分注入時	薬剤を注入する				
	20~30mlの微温湯で、チューブ内の薬剤を流す				
注入器具の取り扱い	医師より指示された水分量を容器に入れ、勢いよく注入する				
	容器と接続チューブはよく水洗いし、汚れがひどい時は食器用洗剤を使用して洗浄する				
	1日の最後には、ミルトンに30~60分つけた後自然乾燥させ、除菌につとめる チューブや容器にひどい汚染や破損が生じた場合は新しいセットと交換する (目安:注入チューブは1~2週間、容器は4-6ヶ月)				
日常ケア	胃ろう部の清潔				
	・1日1回は清拭もしくは洗浄し自然乾燥させる(消毒不要)				
	・入浴時も保護など必要なし(石鹼使用時は弱酸性のものを使用)				
	カテーテルを回転させる(1回/日)				
	・バルーンタイプの場合は2週間に1回は固定水を交換する 口腔ケア:湿らせたガーゼやスポンジでやさしく口の中や舌を拭く				
トラブル時の対処	漏れた時の対処				
	詰まった時の対処				
	下痢や便秘時の対処				
	逆流時の対処				
	カテーテルが抜けた時の連絡先				
カテーテルタイプの説明	4種類のカテーテルがあり、違いを理解した上で生活に適したものを選択する				
栄養剤の種類の選択	栄養剤の種類の違いを理解した上で、生活に適したものを選択する				